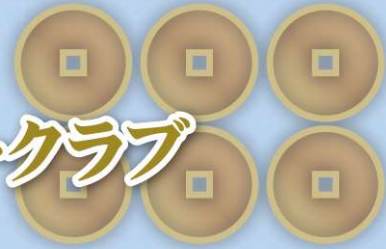




2018-19年度
国際ロータリー会長
バリー・ラシン

第2600地区ガバナー 伊藤 雅基

国際ロータリー第2600地区
上田六文銭ロータリークラブ
Rokumonsen Rotary Club



【事務局】

〒386-0025 長野県上田市天神4-24-1
上田東急REIホテル 3F
TEL 0268-25-6000 FAX 0268-25-6002
http://www.ueda.ne.jp/~ueda6rc/

《例会日》毎週火曜日 12:30~13:30
《例会場》上田東急REIホテル 2F
《創立》1997年2月18日

●会長 水野 泰雄 ●幹事 小嶋 修一 ●会報委員長 柄澤 堯 ●副委員長 大久保昌宏 ●委員 西澤 文登/渡邊 章貴

例会日誌

- 司 会 松澤 一志君
- 開会点鐘 水野 泰雄君
- 斉 唱 『上田六文銭 RC の歌』

□委員会報告

・次期幹事 北村 久文君
RLI 参加者依頼と
次年度事業計画書のお願い



・R 財団委員長 中澤 信敏君
R 財団地区補助金事業経過報告



- プログラム クラブアッセンブリー
新旧引継ぎ会

会長挨拶



水野 泰雄君

「令和」の年も早くも半月が過ぎようとして居ます。今日では70歳現役は当たり前で、75歳まで第一線というような時代となりました。

日本のメディアでは、事件や事故の報道の際に、いちいち「年齢」を表示するという習慣があります。これはもう習慣という生やさしいものではなく、まず絶対に表示しないといけないという「オキテ」があるようです。例えば、交通事故のニュースで、ケガをした人を「山田太郎さん（仮名）」として紹介するような場合には「山田太郎さ

ん（36歳）」という形で年齢が表示されます。例えば、個人情報に配慮して、実名を伏せて報道する場合も「Aさん（28歳）」というように、アルファベット＋年齢という表示がされます。被害者や加害者が未成年で、プライバシーを保護しなくてはならない場合も、「Bさん（17歳）」という風に年齢だけは必ず表示されます。小さなコミュニティなどで、年齢情報だけでも個人がほぼ特定されるような場合でも、特に配慮はされずに年齢は報じられることが多いようです。こうした事件や事故の報道における年齢は、警察発表等のウラを取ることもあって、曖昧なものではなく、まず正しい情報であると考えられます。この年齢報道というのは、色々なドラマを生みます。例えば、美容評論家として、自分自身も美肌を売り物にしてTVなどで活躍していた人が亡くなって死亡報道がされたことがありました。初めてそこで年齢が公表されたのですが、その年齢が、社会的に認知されていた年齢よりも大幅に高齢だったので話題になったということがあります。

年齢が報じられたばかりに、死亡報道という厳粛な内容が、意外に高齢だったという興味本位の話題に転じてしまったわけです。職業柄「年齢を超えることを目指して」おり、そのために「年齢不詳」というキャラで売っていた方でも、死ぬと否応なしに年齢を晒されるというのは、どこか理不尽な感じがしたものです。笑えないのが海外の著名人に関する報道で、これも日本では例外にするわけにはいかなく、とにかく年齢情報が出ます。しかも、どういうウラの取り方をするのか分かりませんが、かなり信ぴょう性の高い年齢を調べて報じるようです。どうして笑えないのかというと、欧米では芸能人の年齢などは一般的に非公表だし、特に話題にはしないのが普通だからです。例えば、2月27日のアカデミー賞では、歌手のレディー・ガガさんが主題歌賞を取った曲のパフォーマンスをしたわけですが、こ

んなエンタメ関係のニュースでも、日本では「レディー・ガガ(33歳)」というように、実年齢入りで報じられます。やはり基本的に年齢不詳というか、キャラ自身が非日常的なファンタジーとして作られている芸能人の場合、実年齢を並べて報道されるのには違和感を感じます。勿論、世界的に大きな責任を負った政治家の場合は、ドナルド・トランプ(72歳)とか、ウラジーミル・プーチン(66歳)というように、一々その「正体をさらす」のも悪いことではないと思います。ですが、芸能人の場合は、下手をすると本国で必死になって作っているアーティストイメージを、日本の「実年齢報道という縛り」が壊しているとも言えるし、夢が消えるということでは経済的にマイナスの効果もあるのではと思います。こうした「年齢報道」ですが、特に目的があるのではなく、メディアの方が形式主義に陥っているだけとか、細かいことにこだわる日本の悪いクセだとかという解説が多くされます。ですから、特に弊害はないという理解が一般的なようです。そうなのでしょうが？実はそのウラには大きな問題が潜んでいると思うのです。

日本社会が年齢にこだわるのは、事件報道に関係する人物や、芸能人の年齢に関して漠然とした好奇心があるからではありません。そうではなくて、実社会におけるコミュニケーション様式に原因があるのです。それは年齢による上下のヒエラルキーという問題です。一歳でも年齢が上なら、まず「タメ口」ではなく敬語で話した方が無難、会議や食事の場合は上座にという「序列意識」がコミュニケーションの中で意識されるからです。仕事でもプライベートでも、例えば近所付き合いや町内会でも、勿論、日本社会におけるヒエラルキーは、年齢だけで決まるわけではありませんが、とにかく漠然とした「序列」として年齢というものがあり、そこに心理的なプライドというものが「紐付け」されているのです。何かにつけて日本人が年齢にこだわるのは、そのためです。そして、そのような習慣はもうオワコンなのです。

例えば、企業内の人事がそうです。年功序列で昇進するという人事を続けられる会社は少なくなり、年齢が若い人が管理職として、年齢が上の人をマネージすることは当たり前になっています。その際に、年齢が逆転しているから「お互いにやりにくい」などという甘えはもう許されない時代です。また、そのような年齢の逆転に加えて、出身国や性別など多様な人材が組織内でイヤな思いをしないように、「経営者や管理職は徹底的に腰を低くして、社内の風通しを良くする」とか「全員がお互いを『さん付け』で呼ぶ」とか「下から上も、上から下もデ

スマス調の丁寧なトークを心がける」といったフラットな組織を目指している企業も増えています。さらに言えば、現代は高齢者も活躍するという時代です。70歳現役は当たり前で、75歳まで第一線というような時代になっています。ですから、例えば「73歳だから自分は偉い」という意識も不要だし、また「73歳なのに現場でかわいそう」という視線もまた不要です。それぞれが、年齢を気にしないで淡々と持ち場をこなす時代ということです。一部には「年齢が若い方が価値がある」という考え方もあります。一部の高齢男性が、若い女性を見る視線などにそういった価値観が残っていますが「#MeToo」の考え方からすれば、そのような発想も、もう終わりというか、許されないことにしていきたいと思います。つまり、日本の社会も十分に成熟してきたのです。ですから、年齢、人種、性別などの属性をいちいち確認して「アンタと自分とどっちが目上？」などという、マウンティング合戦をやらないとダメだとか、その上下関係で「タメ口(だ、である調)」と「敬語(です、ますちょう)」を選択するというバカバカしいライフスタイルは、もう完全にオワコンなのです。

そうした社会の成熟に合わせるのであれば、事件や報道の際に「年齢表示がマスト」というメディアの習慣は、もう即刻終了でいいのではないのでしょうか〜という風潮は、まだ馴染めない自分がいます。「古い人間とお思いでしょうが…」の、世界です。※オワコン(おわコン、終わコン、終わったコンテンツとも)とは、主に一般ユーザー又は、個人ユーザーに飽きられてしまい、一時は栄えていたが現在では見捨てられてしまったこと、ブームが去って流行遅れになったこと、および時代に合わなくなった漫画・アニメや商品・サービスを意味するインターネットスラングである。

幹事報告



小嶋 修一君

1. 米山奨学会より
 - ・ハイライトよねやま 230号
2. 地区事務所より
 - ・次年度地区大会登録料について
3. AMUより
 - ・交流フェスティバル学習部会のおしらせ
4. 上田保健福祉事務所より
 - ・献血バス予定表について

5. 理事会より
 ・ 5 月度理事会議事録

恵送

1. 小さな親切運動様・冊子 春号
 全会員配布物

1. 当クラブ会報 第 1021 号
 2. 会長より 今週のことば
 3. 5-6 月プログラム・7 月プログラム
 4. 6/25 最終夜間例会のご案内
 5. R L I 参加のお願い

出席・ニコニコBOX報告



吉田 穰君

	ベース	欠席	メイク	出席率
本日	24	3	0	87.50%
前々回	23	4	2	91.30%

- 水野泰雄君 先日は 6 クラブ合同コンペありがとうございました。今日はクラブアッセンブリーです。一年間ご苦労様でした。
- 松澤一志君 個人優勝は肥田野さん、団体戦は 2 位。確実にレベルが上がっております。次年度は当クラブが主催です。よろしく。
- 宮澤広一君 クラブアッセンブリーですね。委員長としてあまり活動しなくて申し訳ありません。
- 西澤文登君 今年度も残すところあとわずか。皆様ラストスパートです。
- 柄澤 堯君 映画『兄消える』鑑賞ご希望の方、券あります。
- 山田 豊君 いよいよ今年度の反省会ですね！役員の皆様ごころう様です。
- 宮原宏一君 田中さん、誕生日おめでとうございます。
- 合原亮一君 恵みの雨に感謝。
- 吉田 穰君 東信第二グループゴルフコンペお疲れさまでした。肥田野さん優勝おめでとうございます。

- 肥田野秀知君 笠原 一洋君 小嶋 修一君
 清水 一典君 田中 栄一君 杉山 裕君
 中澤 信敏君 山崎 芳雄君

プログラム

クラブアッセンブリー
 新旧合同引継ぎ会

今年度委員長の皆様に今年度の評価・反省と次年度への引継ぎをお話いただきました。



SAA 松澤一志君



会員増強委員長
 出席委員長 宮原宏一君



広報情報委員長 山崎芳雄君



会報委員長 柄澤 堯君



親睦会場委員長 北村久文君



職業奉仕委員長 宮澤広一君



奉仕プロジェクト部長
 社会奉仕委員長 齊藤恵理子君



国際奉仕副委員長
 杉山 裕君



会計 横沢 正君



幹事 小嶋修一君



会長 水野泰雄君

東信第二グループ 6 クラブゴルフコンペ
5 月 19 日(日) 立科ゴルフクラブ



当クラブ参加者
水野泰雄会長 西澤尚夫君 松澤一志君
肥田野秀知君 山崎芳雄君 吉田穰君
以上 6 名



個人優勝 肥田野秀知君

団体戦 第二位

